

NSK 取扱説明書 NS-HD918IRPRC

200万画素HD.PTZカメラ



1.製品について

1-1.製品一式

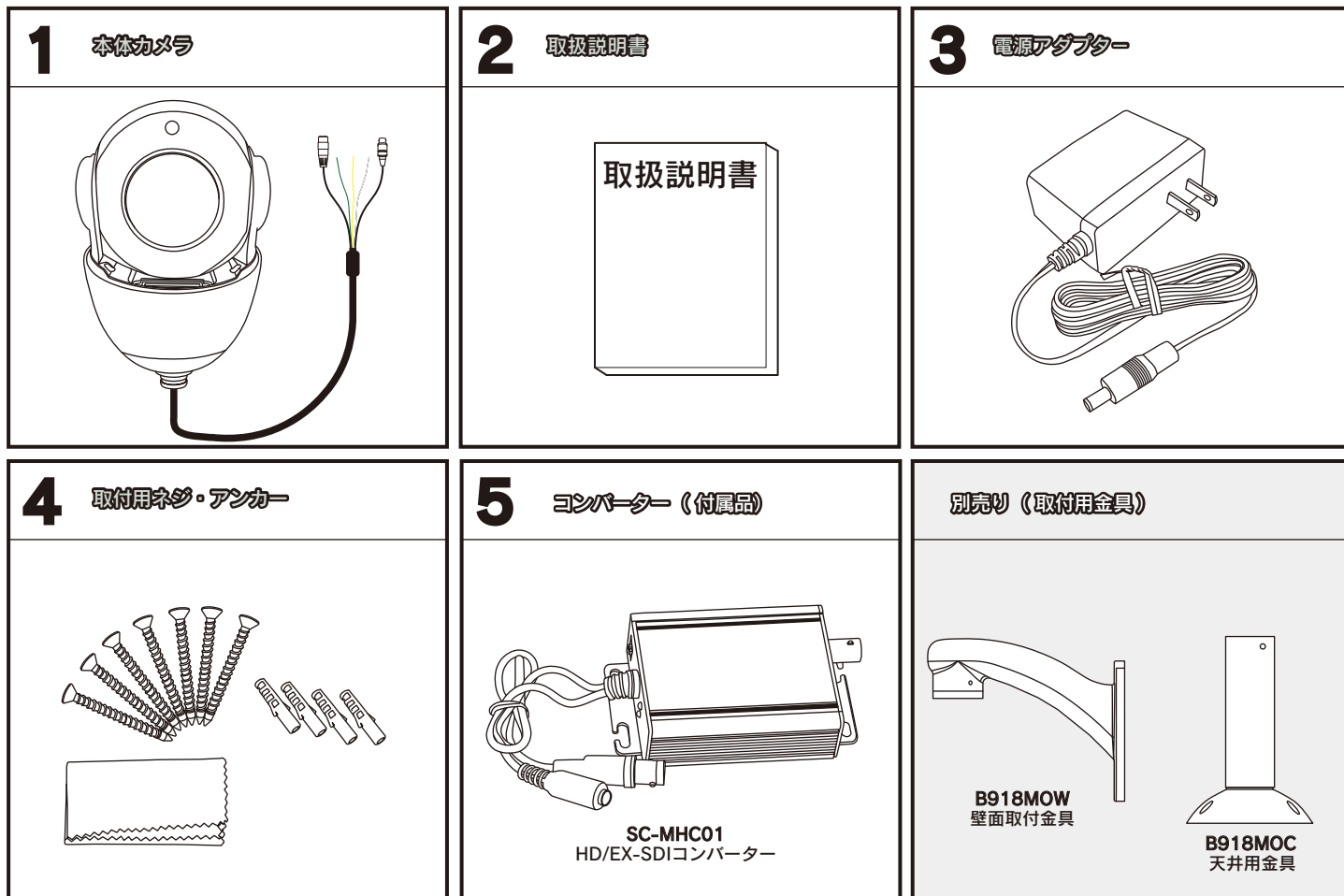
箱の中身をご確認ください。

1. カメラ本体
2. 取扱説明書（本書）
3. 電源アダプター（DC12V/2A）
4. 取付用ネジ/アンカー
5. コンバーター

※取付用金具は別売となっております。

壁に取り付ける場合は・・・「B918MOW」*1

天井に取り付ける場合は・・・「B918MOC」*2 これらのいずれかをご使用ください。



1-2.取り付ける前に・・・

カメラの初期値は下記のとおりです。

カメラID : 1
ボーレート*3 : 9600

接続するコントローラーやDVR等のプロトコル設定を「PELCO-D」、ボーレートをカメラの設定値と合わせてください。
カメラのボーレートの変更方法は次ページを参照してください。

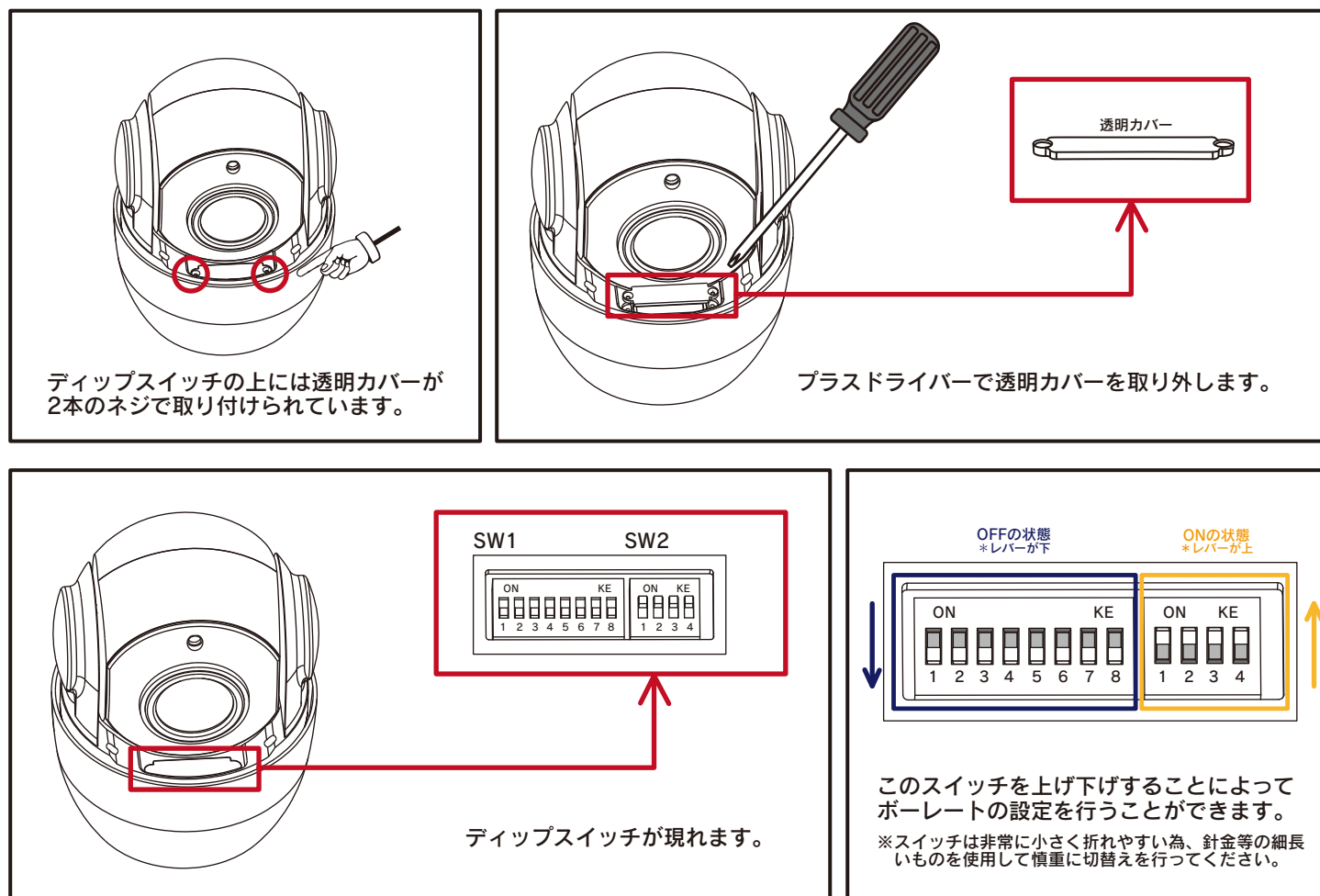
*1 壁掛け用取付金具

*2 天井用取付金具

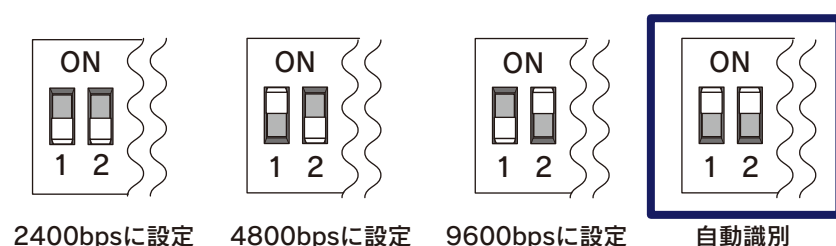
*3ボーレート：デジタルデータをアナログデータに変換し、モデムなどのアナログ回線でシリアル転送する際の単位です。
ボーレートの数値が大きいほど、同じ時間内により多くの情報を転送することができます。

2. ボーレードの設定（カメラ本体）

2-1. ディップスイッチの場所



2-2. ディップスイッチによるID設定

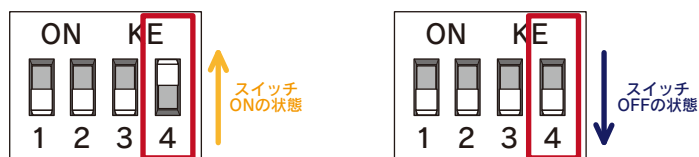


ここでは左から4番目の自動識別に設定します。

複数台カメラを設置する場合、RS485（信号線）は並列に接続します。
最終端のカメラには終端抵抗（コンピュータ機器や、無線機器などで使用する特に周波数の高い通信ケーブルの末端に取り付ける電子部品）の設定を入れていただくと信号品質を向上させていることができます。

終端抵抗されています

終端抵抗されていません

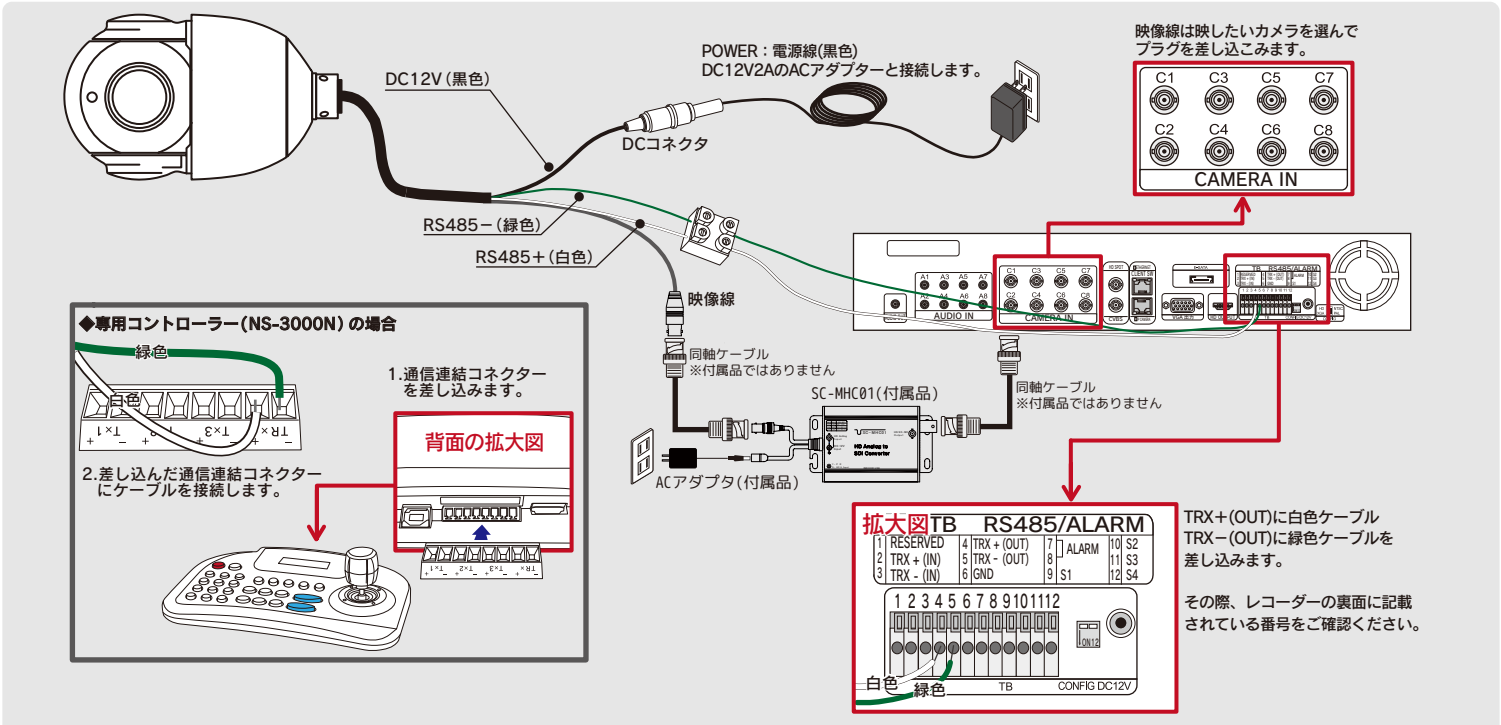


枠内の4のスイッチをONおよびOFFにすることで設定ができます。

3.カメラケーブル・取付

※本機の電源を入れる前にお読みください。

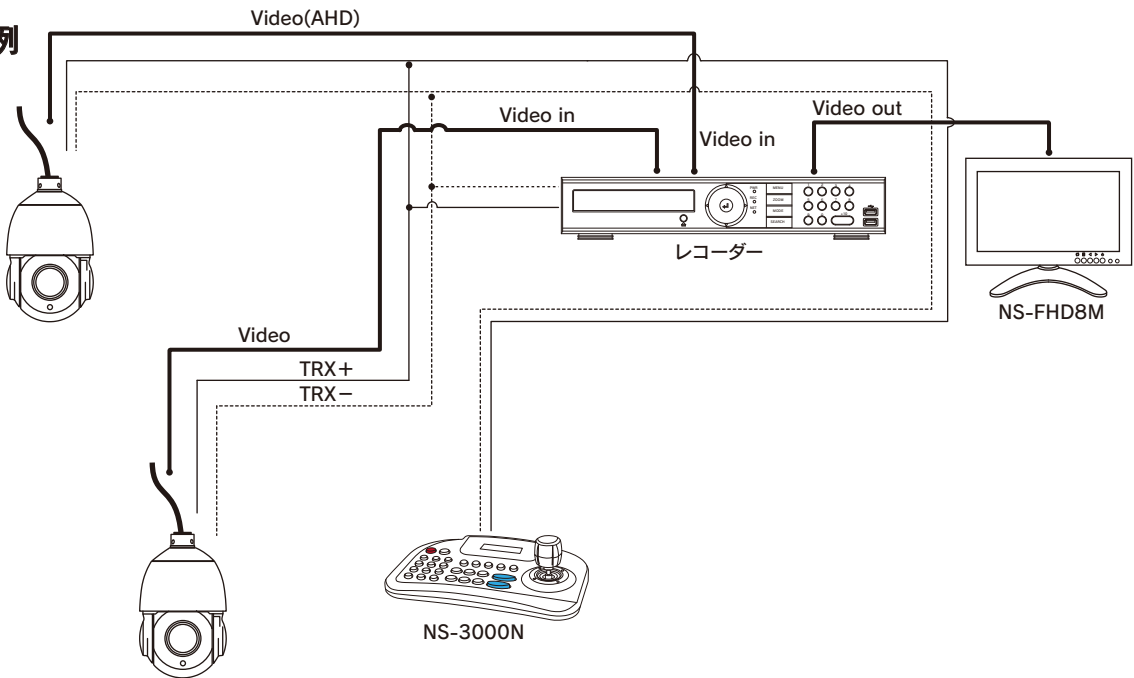
※配線図はあくまでもイメージです。レコーダーは機種により表示やが異なる場合があります。



■ケーブルインターフェース一覧

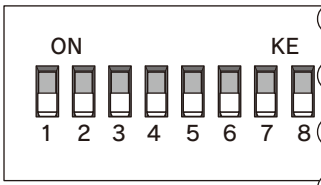
名前	形状・色	接続方法
電源ケーブル	DCジャック・黒	付属のACアダプターのプラグと接続します
映像ケーブル	BNC・黒	DVR等の映像入力ポートと接続します
RS485+	信号線・白	通信ポートの+側へ接続
RS485-	信号線・緑	通信ポートの-側へ接続
ダミーケーブル	信号線・黄	使用しません

■配線例



画像・イラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。

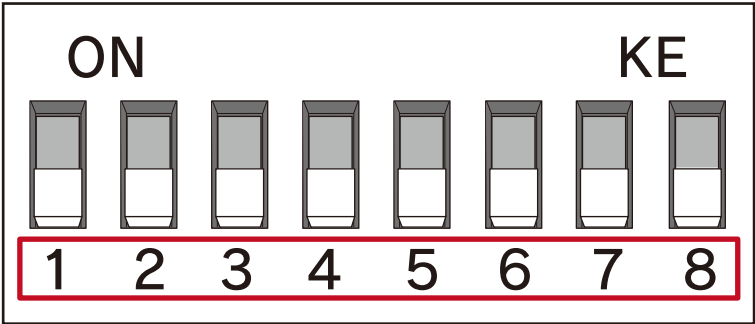
2-3.ディップスイッチID設定一覧



IDの設定について、アドレスコードはバイナリ（2進数で表現される）ルールに従い、8 DIPスイッチ（左記の図）にて設定します。
255個のスピードドームカメラ、各スピードドームカメラには独自のアドレスコードがあり、8を介してアドレスコードを設定することが出来ます。
詳細は以下の表をご参照ください。

アドレス	SW1*5 スイッチの設定															
	1	2	3	4	5	6	7	8								
1									9							
2									10							
3									11							
4									12							
5									⋮							
6									254							
7									255							
8																

【参考】SW1スイッチ拡大図



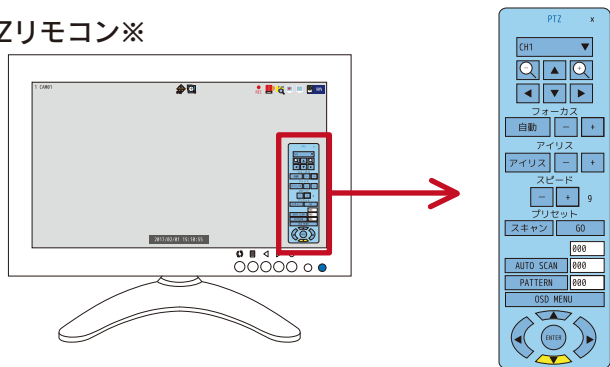
*5 SWとはスイッチの略です。枠内のスイッチの番号となります。SW2なら2、SW3なら3、というように表を見ていきます。

4.カメラメニュー表示

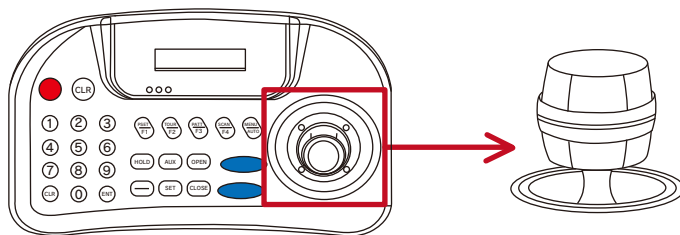
4-1.NS-3000N の場合

モニターに表示されるPTZのリモコン、PTZ専用コントローラー（NS-3000N）による2種類の操作方法があります。

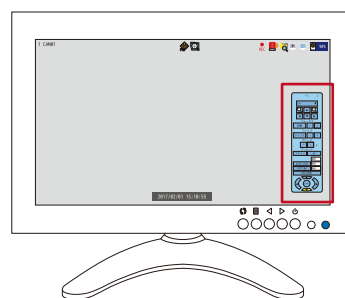
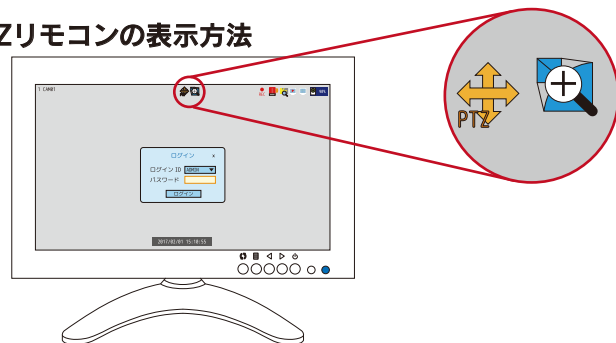
◆PTZリモコン※




◆専用コントローラー（NS-3000N）



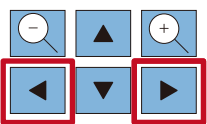
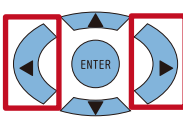
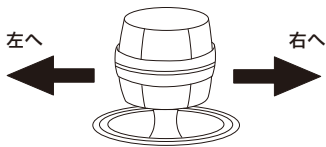
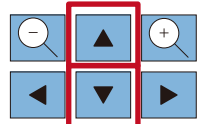
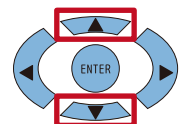
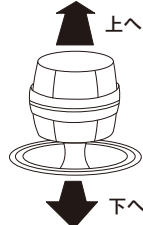
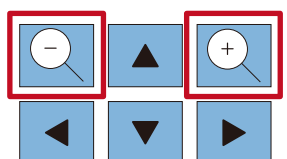
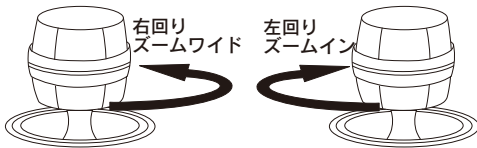


※PTZリモコンの表示方法



① モニターの電源を入れてログインした後、画面中央上にあるPTZ  のアイコンをクリックします。

② 画面右側にPTZコントローラーが表示されます。

■ 操作対応表

アクション	PTZ表示リモコン	専用コントローラー（NS-3000N）
パン （左右の動き）	 OR 	
チルト （上下の動き）	 OR 	
ズームイン ズームワイド		
メニュー表示	 OSD MENU をクリック	 MENUを3秒長押し

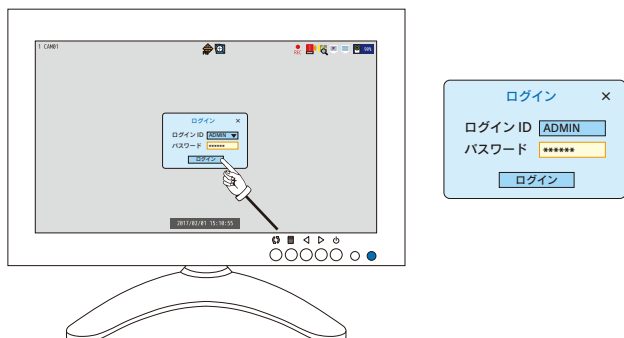
画像・イラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。

4-2. ボーレートの設定（レコーダー）

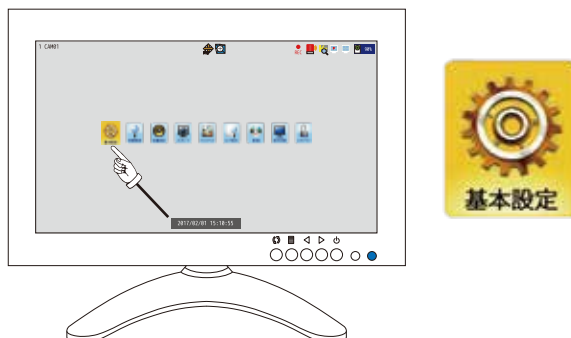
複数台のカメラを 1 台の PTZ カメラコントローラー NS-3000N や DVR で制御するには、カメラ毎に ID を振分ける必要があります。また、同様の操作で、カメラのボーレートを決定し、NS-3000N や DVR からのボーレートと同一にすることで、通信が可能となります。

① ログインします。

※パスワード設定の手順についてはレコーダーの取扱説明書をご参照ください。



② 画面を右クリックし、アイコンが横並びに表示されたら左端の「基本設定」をクリックします。



③ 画面設定が表示されたら カメラ をクリックします。

基本設定	画面設定	カメラ	録画	イベント	デバイス管理	ネットワーク	システム	終了
▶OSD 表示 シーケンシャル モニター解像度	カメラ名 CH 番号 CH 画面境界線 タイムバー アイコン 言語	オン オン オン オン オン JAPANESE						
	OSD 非表示 自動非表示 表示時間	全体 オフ 05 秒						
	基本モード 選択 CH	分類 1~4CH						
	左 余白 右 余白 上 余白 下 余白	00 00 00 00						
決定 ○ 戻る ×								

④ PTZ をクリックします。

基本設定	画面設定	カメラ	録画	イベント	デバイス管理	ネットワーク	システム	終了
▶基本設定 プライバシーゾーン設定 PTZ プリセット スキャン カラー	CH カメラ名 映像表示有無 音声	1 CAM01 2 CAM02 3 CAM03 4 CAM04	映像表示 映像表示 映像表示 映像表示	CH-01 CH-02 CH-03 CH-04				
決定 ○ 戻る ×								

⑤ 画面設定が表示されたら PTZ をクリックします。

基本設定	画面設定	カメラ	録画	イベント	デバイス管理	ネットワーク	システム	終了
▶基本設定 プライバシーゾーン設定 PTZ プリセット スキャン カラー	CH ID プロトコル ボーレート	1 001 2 001 3 001 4 001	UTC_TYPEB UTC_TYPEB UTC_TYPEB UTC_TYPEB	5400 5400 5400 5400				
決定 ○ 戻る ×								

⑥ プロトコルとボーレートを設定してOK

基本設定	画面設定	カメラ	録画	イベント	デバイス管理	ネットワーク	システム	終了
▶基本設定 プライバシーゾーン設定 PTZ プリセット スキャン カラー	CH ID プロトコル ボーレート	1 001 2 002 3 003 4 004	PELCO_D PELCO_D PELCO_D PELCO_D	9600 1200 2400 4800				
決定 ○ 戻る ×								

4-3. ボーレートの設定 (NS-3000N)

1. (NS-3000N から (NS-3000N を使用して) カメラの ID を決定する手順)

- ① カメラ、コントローラ、モニターを正しく接続した状態 (映像 /RS-485) で、NS-3000N の「MENU/AUTO」ボタンを押します。
- ② モニターに「Main MENU」が表示されますので、スティックで「DOME」を選択し、「OPEN」ボタンを押します。
- ③ 「DOME>GENERAL1」をスティックで選択し、「OPEN」ボタンを押すと《GENERAL SET UP》画面が表示されます。
- ④ 「VIRTUAL ADDR」を選択し、スティック左右で「001」～「255」のカメラ ID を決定し、「ENT」ボタンを押します。
- ⑤ 「BAVDRATE」が 9600bps であることを確認して下さい。
- ⑥ スティック上下で「Save and Exit」を選択し、《Main MENU》にて Exit を選択して下さい。
- ⑦ ※上記操作によってカメラ ID や、ボーレートの変更した値が、NS-3000N の設定値と一致しなくなった場合は、通信ができなくなります。その場合は、NS-3000N 側設定 (次頁) を参考に NS-3000N 側の設定値 (ID、ボーレート) をカメラ側に合わせることで通信が可能となります。

また、弊社 DVR (一部非対応の DVR もございます) をお使いの場合は、「MEMU」ボタンを押して、基本設定⇒カメラ⇒PTZ (下図参照) の設定画面より、カメラの ID、PELCO_D (プロトコル)、9600 (ボーレート) を変更できます。必ず最後に決定⇒保存をして画面を閉じてください。

4-4. カメラ ID の設定 (NS-3000N)

アイコンの説明



スティックを矢印の方向へ倒す



WDS PEL-D 2.4K
ID:001

ボーレートの初期値は 2.4K となります。

1. 電源を入れると液晶ディスプレイに左の画面が表示されます。

WDS PEL-D 2.4K
ID:1_

2. ボタン **1** を押し、液晶モニター内のカーソルが点滅中に **SET** を 2～3 秒長押しして、PTZ制御設定メニューに入ります。

[PTZ SETUP 1]
PASSWORD [****]

3. パスワードを入力します。(4 桁)
※初期パスワードは「0000」

[PTZ SETUP 1]
1.ADDRESS : 001

4. 「ADDRESS」をカメラで設定した ID に変更します。(001～255)



→ で数値を変更します。「SETUP」を変更すると、「ADDRESS」の値も変化します。





↓ で次へ



[PTZ SETUP 1*]
1.ADDRESS : 001

例:ID 001 の場合



[PTZ SETUP	1*]
2.MODEL :	WDS

5. 「MODEL(カメラの名前)」を設定します。初期設定「WDS」になっていればOKです。別の名前になっている場合は、 → で切り替えます。
 ↓ で次へ

[PTZ SETUP	1*]
3.PROTOCOL :	PEL-D



6. 「PROTOCOL(プロトコル)」を設定します。
初期設定「PEL-D」になっていればOKです。
別の名前になっている場合は、 → で切り替えます。
 ↓ で次へ

[PTZ SETUP	1*]
4.BAUDRATE :	2.4K



7. 「BAUDRATE(通信速度)」を設定します。
 → を数回操作し、数値を 9.6 に切り替えます。
 ↓ で次へ

4.BAUDRATE : 9.6K

[PTZ SETUP	1*]
5.PARITY :	NONE

8. 「PARITY」を設定します。
初期設定「NONE」になっていればOKです。
別の名前になっている場合は、 → で切り替えます。
 ↓ で次へ


[PTZ SETUP	1*]
6.PROP:	ON

9. 「PROP(速度)」を設定します。
初期設定「ON」になっていればOKです。
OFFになっている場合は、 → で切り替えます。
 ↓ で次へ


[PTZ SETUP	1*]
7.SAVE:	▷

10. 設定を保存します。
「SAVE」の右側に▷が出ている状態で  → OKと出たら保存完了です。
(OKの文字はすぐに消えて▷に戻ります。)
 ↓ で次へ

[PTZ SETUP	1*]
8.EXIT	

11. 設定を終了します。
「EXIT」が出ている状態で  →

WDS PEL-D	9.6K
ID:1	

12. 設定内容が表示された画面に切り替ります。
ID に設定した 3 桁のナンバーを入力し、 を押します。
これで、カメラの ID とリンクされ、メニュー操作が可能になります。

WDS PEL-D	9.6K
ID:001	

例: ID 001 のカメラメニューを操作する場合、    を押します。

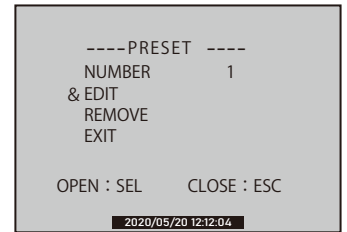
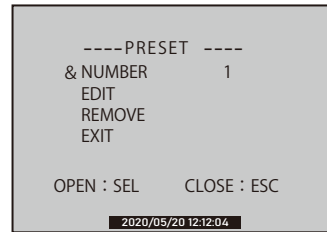
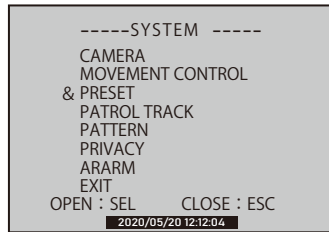
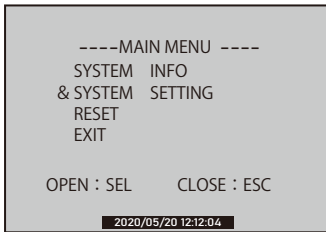
5.基本操作

5-1.カメラ動作の種類

1. プリセット：プリセットポジション（あらかじめ指定した撮影方向）を設定します。
最大 220 箇所の設定が可能です。（※レコーダーでの最大登録個所は64となります。）
2. パトロール：プリセットポジションを巡回動作します。最大 8通りの設定が可能です。
3. パターン：手で操作したカメラの動きを登録します。最大4通りの設定が可能です。
4. パークアクション：一定時間操作がない場合に復帰（ホームポジション）する動作を設定します。
5. パークアクションタイム：パークアクションを行うまでの時間設定をします。5秒から255秒
6. パワーアクション：電源投入時の動作を設定します。

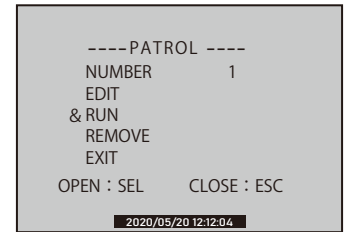
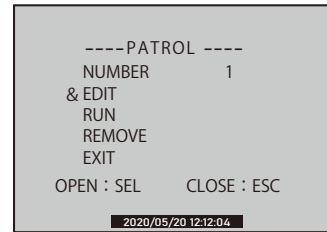
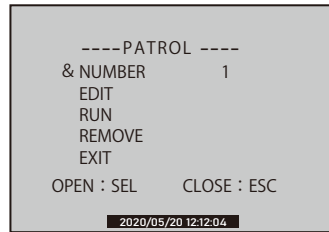
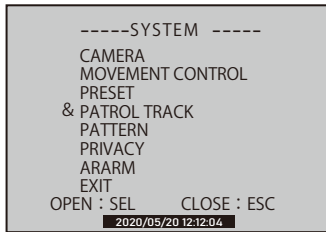
5-2.基本操作手順

■プリセット



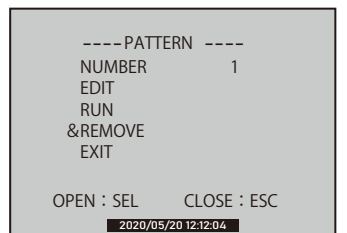
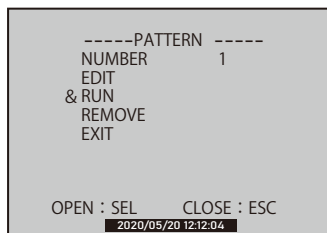
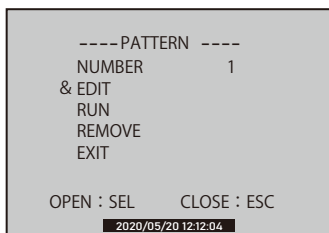
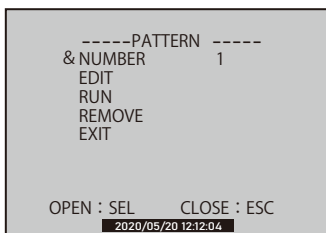
1. メニューボタンを長押ししメニュー画面を開く。
2. SYSTEM SETTING → PRESET を開く。
3. NUMBER でプリセットポジション番号 (ID) を選択。
4. EDIT を選択し ADJUST PTZ AND LEN が表示されたら、任意の位置まで動かし OPEN を押し決定する。

■パトロール



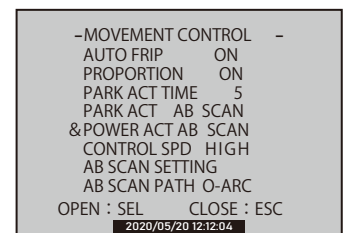
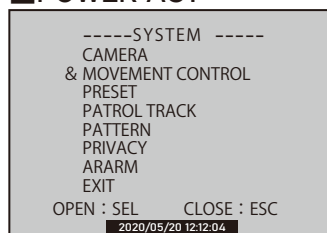
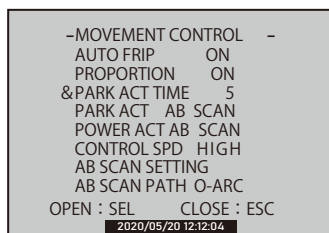
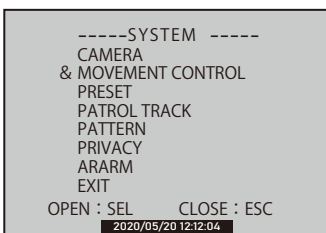
1. SYSTEM SETTING → PATROL TRACK を開く。
2. PATROL TRACK → NUMBER (1 ~ 8) を決める。
3. EDIT から移動速度、プリセットの移動時間の変更をする。
4. RUN を選択する。

■パターン



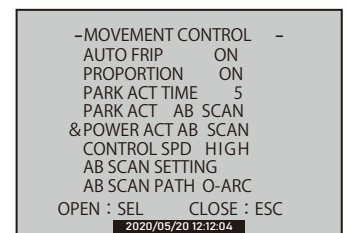
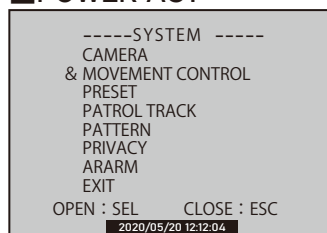
1. PATTERN (カメラ移動) 1 ~ 4 を決める。
2. EDIT → カメラの動きを登録させる。
3. RUN → パターンを開始する。
4. REMOVE → パターンを削除する。
5. EXIT → 終了する。

■PARK ACT



1. SYSTEM SETTING → MOVEMENT CONTROL を開く。
2. CONTROL → PARK ACT にて設定した PATTERN、PRESET、PATROL を登録する。
3. CONTROL → PARK ACT から設定した PATTERN、PRESET、PATROL に戻るまでの時間の設定をする。

■POWER ACT



1. SYSTEM SETTING → MOVEMENT CONTROL を開く。
2. POWER ACT を設定しておくで電源を入れた後、設定されたモードで起動する。

<メニューツリー>

